

議会報告会を開催しました	2
こんなことが決まりました	3
委員会の報告	4
ここが聞きたい 13人が一般質問	5
委員会視察報告	12

かに  
市議会  
だより

2015.2.1 第55号



久々利保育園発表会「だるまさんがころんだ」

# 議会報告会を開催しました

可児市議会では議会基本条例に基づき、本年度2回目の議会報告会を開催しました。報告会場は11月16日川合公民館、11月22日久々利公民館、11月23日広見東公民館で、議員を3班に分けて開催し、延べ80名の方に参加いただきました。

第1部として可児市議会と議員の活動の現状と、今後の課題について報告をしました。第2部では、9月定例会で行った、平成25年度決算審査の内容および審査の流れと議会の役割について説明した後、これまでに行った提言に対する市の対応と、平成27年度予算編成に活かすべく行った提言について報告をしました。(提言内容については、議会だより第54号の平成27年度予算編成への提言をご覧ください。)

今回は新たな試みとして、第3部で「地域の共助と健康づくり」をテーマに意見交換会を開

催しました。参加いただいた市民の方々と議員が4班に分かれ、グループディスカッション形式で意見交換を行いました。

## 主な質疑と回答

**Q** 国は1000兆円の借金がある。市の財政は大丈夫か。議会として市の財政状況への認識は。

**A** 本市は類似団体と比較しても健全と認識している。議会として長期的な安心を担保するための提案を行い、基金や市債の状況を詳細に審査している。



意見交換会の様子 (久々利)

**Q** 提言で、職員数523人を確保することを求めているが、大規模災害があった場合、本당にこの人数で対応しきれぬのか。議会としてどう考えるのか。

**A** 本市の職員の条例定数は532人だが、市として目標数値を523人としているので、最低限それだけは職員を充足させるべきであると提言している。

## 意見交換会での意見(抜粋)

・メタボ検診受診者にスポーツクラブの利用助成券を配布していることは、運動することへの「きっかけづくり」になる。健康づくりへの意識が高くなれば健康増進につながると思う。  
・民営のクラブは把握していないが、市内には公共のトレーニング室がある。比較的安価に利用できるので一度行ってみたいと思う。

・花フェスタ記念公園の入場料の1000円は負担であり、市民だけでも無料のパスを出して



意見交換会の様子 (川合)

はどうか。季節の花が見え、交通も安全であり1時間位で1周できる。

各会場とも活発な意見交換がなされました。意見交換会のテーマ以外のことも含め、数多くの貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

頂きましたご意見は、各常任委員会できりあげていくなど、今後の議会活動に活かしていきます。

# 12月定例会

平成26年第6回可児市議会定例会を11月27日から12月22日までの26日間の会期で開き、平成26年度の補正予算や条例の一部改正など、27件を審議しました。

今回の本会議では、「手話言語法に関する請願」および請願に基づく意見書の審議に関して、手話通訳者を設置して、議場で会議の内容を通訳していただくという取り組みも行いました。

## 提出された議案と審議結果



今回提出された議案は、予算関係4件、条例関係15件、人事1件、その他3件、委員会提案3件、請願1件で、すべて原案のとおり可決、採択しました。

番号	件名	結果	番号	件名	結果	
議案	52 平成26年度一般会計補正予算(第4号)	◎	議案	66 キッズクラブの設置及び管理に関する条例の一部改正	◎	
	53 平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	◎		67 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	◎	
	54 平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	◎		68 地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	◎	
	55 平成26年度水道事業会計補正予算(第1号)	◎		69 国民健康保険条例の一部改正	◎	
	56 部設置条例の一部改正	○		70 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	◎	
	57 行政手続条例の一部改正	◎		71 人権擁護委員候補者の推薦	◎	
	58 議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	◎		72 指定管理者の指定	◎	
	59 常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正	◎		73 可茂広域行政事務組合規約の変更	◎	
	60 職員の給与支給に関する条例の一部改正	○		74 可茂広域行政事務組合規約の変更に伴う財産処分	◎	
	61 公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正	◎		請願	5 手話言語法に関する請願	◎
	62 税条例の一部改正	○			7 「議員定数、議員報酬のあり方及び常任委員会の体制の見直しについて」に関する専門的調査を依頼する件	◎
	63 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○			8 「手話言語法」制定に関する意見書	◎
	64 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○			9 地域公共交通(鉄道)の確保及び維持に対する支援を求める意見書	◎
	65 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	◎		【結果の表示記号】◎全会一致で可決・採択 ○賛成多数で可決		

### 12月定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件等は、全会一致で可決・採択しています。

	伊藤 壽	出口 忠雄	勝野 正規	板津 博之	伊藤 英生	佐伯 哲也	川上 文浩	山田 喜弘	澤野 伸	酒井 正司	川合 敏己	天羽 良明	野呂 和久	山根 一男	中村 悟	小川 富貴	伊藤 健二	富田 牧子	亀谷 光	可児 慶志	林 則夫	
議案第56号 部設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○
議案第60号 職員の給与支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○
議案第62号 税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○
議案第63号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○
議案第64号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対

※議長は、採決に加わらない。議案第71号および発委第7号以外については、小川富貴議員は欠席でした。

### 請願の結果一覧

請願名	請願者	委員会意見・結果	付託委員会	本会議
手話言語法に関する請願	一般社団法人 岐阜県聴覚障害者協会 会長 水野 義弘	手話を日常生活に浸透させ、障がい者の公平性を確保するための法整備を求め、採択	教育福祉	採択

# こんなことを審査しました

## 総務企画委員会

### 市の組織が変わります

庁内の意思決定の透明性・迅速性を高め、独自の魅力ある政策の企画・立案と観光交流・地域経済の活性化を強化するため、企画経済部を廃止して、市長公室、企画部及び観光経済部を新設する条例改正案を委員会で審査しました。

**Q** 市長公室では重要施策の企画及び調整を行うとされているが、ここで言う重要施策とは何か。

**A** Kプロジェクトを重要施策と位置づけるのが適切と考える。また状況によって重要施策が新たに発生したり、重要施策が一般的な施策に移したりする場合も想定している。  
※Kプロジェクトとは、市長公約にもとづく、「住みごこち一番・可児」の実現を目指すための施策の総称。

### 市職員の給与が変更になります

国家公務員の給与改定に準じて、一般職員の給料表および勤勉手当の支給率を改定する条例改正案を委員会でも審査しました。委員会の中では、次のような意見もありました。

#### 反対

人事院勧告によって、平成27年度から平均で2%引き下げるという内容を反映したものとされている。公務員の4割に悪影響を与えるこうした賃金の引き下げ勧告については問題があり反対。

### 地域公共交通（鉄道）の確保および維持に対する支援を求める意見書

これまで委員会で協議されてきた名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の存続問題について、可茂地区高等学校PTA連合会から議長への要望もあり、国や県に対し支援を求める意見書を提出する発案を行いました。

## 教育福祉委員会

### 福祉センターの指定管理者が決定しました

指定管理者の指定について委員会でも審査しました。市では、福祉センターの指定管理運営を検討し、公募に応じた3社の中から、1社を選定しました。指定の期間は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間です。

※平成15年6月に地方自治法の一部を改正する法律が公布され、「官から民へ」の行政改革を反映し、本市でも公の施設を民間事業者が管理できるよう指定管理者制度を導入しています。

**Q** 選定の決め手となったのは、自主事業に大変積極的だからとのことだがどのような内容か。

**A** 骨盤体操教室やフラダンス教室など13の事業を自主事業として提案されている。

**Q** 福祉センターの今後の運営

に、指定管理者に市として何を期待するのか。

**A** 具体的な提示はしていないが、利用回数や利用率の向上、経費の削減を図るなど、民間のノウハウを生かした管理運営を期待している。

#### その他

子ども・子育て支援新制度の実施に伴う条例の制定や一部改正などについて審査しました。内容は0歳から2歳の保育ニーズの高まりに対応し、女性の活躍の場を確保していくための条例などです。

### 「手話言語法」制定を求める意見書

岐阜県聴覚障害者協会の方を参考人招致して審査した請願を採択し、国に意見書を提出する発案を行いました。

# 一般質問

## 13人が市政を問う

一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。  
ご不明な点は、議員にお尋ねください。

また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っていますので、一般質問の様子を映像にてご覧いただけます。



### 市道路の面整備計画は

**Q** 地域経済を活性化するには、道路の整備が非常に重要である。平成25年度に地区要望で提出された道路の面整備に関する要望件数と、その対応状況および今後の道路の適正な整備計画は。

**A** 市道の面整備に関する要望は平成25年度で48件あり、27件が施工済や施工中および計画。事業規模が大きいものについては、多額の事業費や用地取得等が必要となるため、中長期的な対応と判断した。実施についてはすべての現地確認を行い、重要性・緊急性などの観点から総合的に判断し、実施に至った。また、幹線道路（約150km）における舗装の損傷度調査診断を行い、この結果を基に必要な対策工事を順次行う計画であ

るが、市民からの道路不具合に関する情報提供を頂ければ大変ありがたく思う。

センターライン・外側線整備を

**Q** 夜間雨天時の安全確保のためにも、道路のセンターラインおよび外側線の集中的な整備が必要ではないか。

**A** 安全対策の面からも優先的に対応を行う。



不明瞭なセンターラインと外側線



まさき かつの 勝野

## 児童センター機能の充実を



とみだ まき子  
富田 美子

**Q** 可児駅前「子育て・健康・にぎわい空間」施設の企画設計書では、児童センター機能部分の面積は合計755㎡となっているが、中高生の利用も考えるなら、もっと広くすべきでは。また、図書や屋外広場の整備はどう考えているか。

**A** 児童センター機能の広さについては、中高生も軽スポーツができる遊戯室は広見児童センターの2・3倍、サロンスペースは絆るーむの2倍の広さがあり、十分な面積を確保している。創作活動ができる活動室や研修室も設けたい。

図書については具体的な計画はまだないが、図書館と連携してそろえていきたい。

3つの広場機能を設けてい



広見児童センター

るが、子どもたちが外で遊ぶことができる多目的なスペースを確保したい。

**Q** 広見児童センターはどのようなのか

**A** 駅前施設と広見児童センターとの関連は、

移設も想定に入れ、駅前施設はより充実した児童センター機能を導入したい。

## 増え続ける認知症への対策は



おがわ ふき貴  
小川 富貴

**Q** 65才以上の7人に1人が認知症といわれる現在、認知症を抱えた老々介護の世帯へ

の本市のサポート体制は生きているか。

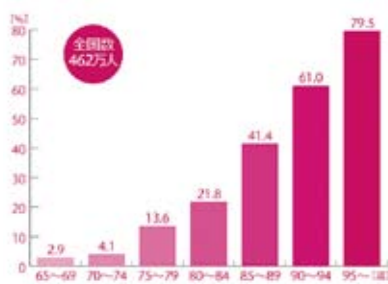
**A** 市の持つ対策1点目は、認知症サポーター養成講座を実施し、地域での日頃からの見守りを推進。2点目は、認知症予防に効果がある学習療法講座の実施。3点目は、発症した時、いつ、どこで、どのような支援が受けられるかを示した、認知症ケアパスの普及。4点目は地域包括支援センターによる相談業務の推進や、認知症をより理解するための認知症カフェの開催。

また地域見守り協力活動で、高齢者の安全確保、事故予防に努める。

**Q** 生活困窮者が認知症を発症したら

**A** 国民年金だけで生活している低所得の高齢者世帯で認知症を発症した場合に、市はどのように向き合うのか。

**A** 支援制度の中にある減免制度等の利用、あるいはまったく資産がなく、他のさまざまな制度を活用できない場合においては、生活保護の制度によって必要な支援を受けていただくことになる。



認知症高齢者の割合  
厚生労働省研究班推計(2013)  
(NPO法人認知症ラポHPより)

## 観光交流人口倍増への施策は



さわの しん 伸 澤野

**Q** 市長公約の「地域の元気づくり」で観光交流人口倍増に向けた方針は。

**A** 財政状況をよく見ながらスピードアップしてハード・ソフトを整備していく。美濃桃山陶の聖地や、最近特に人気がある城跡、国の指定史跡の美濃金山城を中心に、久々利、今、室原、土田など戦国時代に役割を担った城跡等の活用も考えたい。地域や団体とも連携を図り交流人口を増やすことで定住人口につなげ「住みごっこち一番・可児」を目指す。

### 地域経済活性化への観光施策は

**Q** 交流人口を拡大させることで人口減少の影響を緩和し、地域の活力を取り戻そうとする

る動きが広がっている。観光関連政策の枠組み等を鑑み、本市の強み・弱みを検証し、観光まちづくり戦略を構築しては。

**A** (仮称)観光グランドデザイン案を観光まちづくり戦略として優先順位をつけて取り組み、具体的な計画について策定する。地域資源と市民力を結集した観光交流を推進することで地域・経済の元気づくりを実現させていく。



土田城址記念碑

## 子育て応援メール配信事業導入を



やまだ よしひろ 山田 喜弘

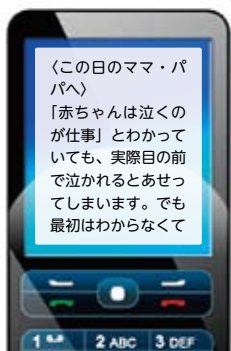
**Q** マイナス10ヶ月からの子育て推進に向け、子育て応援メール配信事業を導入しては。

**A** 妊娠週数や月齢に応じて、また子どもの誕生日に応じて、その時期に必要なアドバイスや情報が届けられる仕組みは、子育て家庭にとって非常に有用な方法と考える。内容を吟味し、導入を検討する。特に、情報を一方的に届けるだけでなく、不安な気持ち等を聞ける仕組みが付加できれば、誰かに見守られているという安心感を持ってもらえる。平成26年度内に可児市版の情報を提案する。

### 教育委員会改革について

**Q** 新教育長に期待する人物像と政治的中立に対する見解は。

**A** 市民目線を今まで以上に大事にする必要がある。そして、「日本一子どもに寄り添う義務教育」という本市の施策を理解したうえで、本市を大切に、誇りに思ってくれる子どもを育てるということを十分認識された方を期待したい。中立的立場で任命することとは極めて大切である。一方で、市が教育についての重要な役割も担っているため、教育委員会とは、十分な連携を図っていきたい。



文京区子育て応援メール

## 市長再選後の スポーツ振興は



あもとう よしあき  
天羽 良明

**Q** 市長公約のKYBスタジアム南側隣接地約1万5000坪の県有地の取得の目的は。

**A** 県有地の一部を、不足している駐車場として整備することで、他から借りることなく自前の駐車場で大規模な大会等を開催できる。ハイレベルな競技や全国大会のスムーズな招致が可能となり、市民が一流のスポーツに触れる機会がふえ、スポーツの振興が図られる。

### 新たなスポーツ施設整備の考えは

**Q** 市民ニーズの高いサッカー場、総合体育館などに対する再選後の市長の考えは。

**A** 2年かけて調査した結果、今ある本市の公共施設を維持・更新していくだけでも、



KYBスタジアム南側の県有地

かなり大変だということがわかってきた。これから新たに作るものについては、市民の皆さんのニーズ、そして広域的な連携の可能性、さらには民間がどこまで支援していただけるのか、そして将来世代に負担をかけないということを総合的に勘案して決めたい。

## 積極的な若者の活動支援を 望む



なかむら さとる  
中村 悟

**Q** 高齢者や子どもに比べ若者に対する支援が薄いと思う。市は、若者の活気ある活動ができるよう積極的に環境整備を進めるべきと思うがどうか。

**A** 若者が住みたいまちとは、働く場所・安心な子育て・活躍の場がある等、さまざまである。中でも重要なのは働く場所であり、企業誘致を促進している。

文化創造センター・KYBスタジアムなど、若者の活動の場は一定程度備わっている。これらの施設を必要に応じて利用できれば、行政が主体ではなくても若者が活動する場はいくらでもある。

### 青年団を復活してはどうか

**Q** 近隣地域の同年代の若者が集まれる場があれば、薄れ

がちな地域とのつながりや新たな交流の機会が広がると思うがどうか。

**A** 余暇の多様化や仕事の多忙化などで、固定的な組織に縛られる活動を避けるようになり青年団活動もなくなった。こうした社会的背景から、市が主導して青年団のような組織を編成することは考えていない。



可児駅前「一坪市」にて活動する若者



## 雇用の安定で未婚率上昇を 防げ



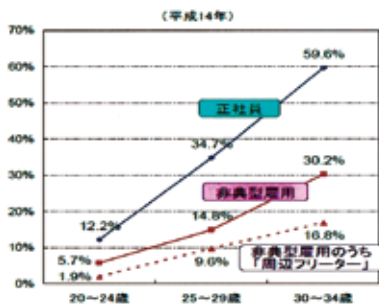
いとう ひでお  
伊藤 英生

**Q** 平成22年国勢調査によると、15歳以上65歳未満の市内男性の35%、女性の26%が未婚となつている。結婚への意識の変化もあるが、非正規雇用の拡大など雇用の不安定化もその一因と考える。市の対応を問う。

**A** 本市の未婚率は全国平均と比べて5ポイント程低いものの、やはり上昇傾向である。今後も未婚率の上昇を抑えるために、若い世代が安心して子育てを行える環境を整えながら、雇用の創出も大事な要素として、市内事業者の事業拡大の支援と優良企業の誘致を推進していく。

企業立地による雇用への効果は

**Q** 富田市政1期目は積極的



男性の就労形態別配偶者のいる割合  
(労働政策研究・研修機構資料より)

な企業立地に取り組み、5社の進出を実現するなど産業振興に大きな成果を上げた。それによる市内の雇用への効果は。

**A** 既存企業の増設や新規事業者の誘致により、今後数年間で1100人を超える雇用が創出される見込みで、このうち新たな雇用者は市が把握する範囲で約200人程度と見ている。さらに、その中で本市に住所を有する方は約半数と捉えている。

## 水道施設の耐震化への 取り組みは



さえき かつや  
佐伯 哲也

**Q** 現状と今後の計画は。

**A** 県の川合・山之上浄水場とともに、阪神淡路大震災クラス的地震に対しても、その機能に重大な影響を及ぼさない耐震性能を有している。また、配水場、配水池の耐震化率は貯水容量換算で71%、送水管などの重要な基幹管路の耐震化率は35%になっている。これらの耐震化率向上に向けて、今年度から国の補助事業として、配水場等の施設や送水管などの重要な基幹管路の耐震化に本格的に取り組んでいる。

### 条例とバンクの関連は

**Q** 平成27年4月より議案の「**空家・空き地バンク**」が施行されるが、空家・空き地バンクとの関連性は。

**A** 施行される条例と現在運用している空家・空き地バンクの関連性については、空家等の対策の2つの柱と考えている。

適正管理は、空家等の適正管理に関する条例によって、利活用は空家・空き地バンクを推進し、物件を流通させることにより、若い世代が住宅団地に移住してもらうことを目指している。



市ホームページ 空家・空き地バンク

## 住みよさランキングの 評価は



板津 ひろゆき  
いたず ひろゆき

**Q** 平成26年6月に「住みよさランキング2014」が発表され、本市は総合で289位であった。この結果に対する本市の分析と評価は。

**A** 住みよさランキングの指標は、直接的に市の施策・事業にかかわるものもあれば、間接的なものもあり、市政運営により左右される数値の向上への取り組みは必要であるが、それだけにとらわれることなく重点事業を中心とした施策を市民とともに推進していくことが重要だと考える。

### 住みよさランキングとは

**Q** 市長の考える「住みよさランキング」とは何か。

**A** 一つは「住みよさランキング」のうち「住みよさ」を第一に考える。二つ目には「住みよさ」を第一に考える。

住みよさランキングが良いと実感していただける」という意味。具体的には、元気な地域力と経済力に支えられた安全・安心なまちで、いつまでも安気に暮らし続けられ、子ども達が夢を持って健やかに育ち、自然、スポーツ、文化、歴史などが丸ごと楽しめるまちを目指すということ。この成果を数値で示すことは難しいが、一つには日本全体の人口減が進行する中で、人口10万人規模を維持することと考える。

	2010	2012	2013	2014
住みよさ	87	170	199	289
安心	(53.97)	(52.23)	(51.85)	(50.95)
利便	553	549	581	633
快適	215	347	352	426
健康	61	175	214	307
環境	186	290	305	267
経済	329	321	323	322
教育	53	324	274	545
文化	(107.26)	(99.69)	(101.19)	(98.13)
自然	68	429	301	663
歴史	61	290	237	452
魅力	183	114	119	173
安全	(99.47)	(103.92)	(103.54)	(98.72)
経済	225	124	124	219
環境	130	124	124	209
財政健全度	68	77	85	90
	(58.84)	(58.53)	(57.85)	(57.73)
財政健全度	61	50	34	30
学力	92	72	51	61
学力	146	145	254	282
学力	93	186	213	210

(東洋経済新報社都市データパックより)

可児市の住みよさランキング推移

## 可児駅前拠点施設の 賑わい創出は



山根 かずお  
やまね かずお

**Q** 可児駅前拠点施設の企画設計書が発表された。子育て・健康・賑わい空間という位置づけになっているが、この計画で、果たして賑わいづくりが創出できるのか。

**A** 今後の予定として、平成27年6月までに基本設計を完了し、平成28年3月までに実施設計を行い、平成28年・29年で建設工事、平成30年4月オープン予定である。施設の延床面積は約5000㎡であり、1㎡当たり30万円の工事費を目安にしている。

既存施設との機能の重複は避ける配置方針である。今後この施設が、駅利用者も含めて多くの市民に末永く利用してもらえるように、市民の意見を反映させながら進めていく。

### 人口減少時代の産業振興の あり方

**Q** それぞれの市町は生き残りかけた都市間競争の時代に入っている。当市の産業振興ビジョンを問う。

**A** 社会経済状況や、国の施策等に適合する本市の地域性を十分勘案した上で、実効性のある施策を打ち出していく。



駅前拠点施設建設予定地 (約 5000㎡)

## 母子家庭等の国保税負担の軽減を



いとう けんじ  
伊藤 健二

**Q** 貧困と格差が拡大し、ひとり親家庭の貧困率は50%を超えた。とりわけ、母子家庭世帯の国保税は平均約10万6千円（介護分対象には1万5千円を加算）の水準で、滞納を生む等過大な負担となっていないか。低い所得額に応じた特例の軽減措置を検討してはどうか。

**A** 母子家庭では全対象者の8割近くが既に軽減措置を受け、最大の7割軽減も4割以上の世帯が受けている。加えて、減免制度もあるので現行制度の活用を図り、PRも強化する。今後は国保広域化等の問題もあり、全体として考えていく。

リニア対策は組織体制の整備を

**Q** リニア鉄道の地上走行に伴う文化財保護や住民の生活環境を守るため、今後はどう対処するつもりか。

**A** 事業説明会が開催されたが、地域住民の不安は解消されてはいない。今後は現地測量や設計が進み、各段階で順次説明がある予定だ。市のサポート体制を強め、公共交通係を創設し、庁内で連携してリニア中央新幹線事業に対応していく。



市が発行する国民健康保険税のしおり

## 市長公約実現のための具体策は



かわかみ ふみひろ  
川上 文浩

**Q** 市長が掲げる4つの重点方針をKプロジェクトとして具体的にどのように進めるのか。

**A** 高齢者の安気づくりでは、健康づくりに市民自らを取り組まれるよう、市はKルートの整備などのお膳立てを行う。また、在宅介護推進のため、地域、医療・介護関係者と協力し、モデル事業に取り組む。子育て支援では、食育・教育・保育・健康などを総合的にサポートできる拠点施設を開設し、地域を愛する子どもたちが育つ仕組みを作りたい。

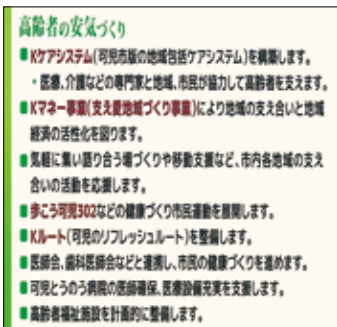
**Q** 女性管理職の登用についての考えは。

**A** 将来にむけ、まず係長・課長補佐が男女同数になるよう目指したい。

### 投票率を向上させる施策は

**Q** 市長選挙の投票率が低かったが、どのような啓発を行ったか、また今後の対策は。

**A** 今回は、ポスターやチラシを増刷、CATVの告知回数、街頭での啓発を増やした。新たにCM放送、データ放送、フェイスブックでの発信、「すぐメールかに」での呼びかけも行った。また、今春の県議選から桜ヶ丘公民館、帷子公民館に期日前投票所の増設を目指す。



市長の掲げた公約の一部  
(市長選挙公約リーフレットより)

# 委員会視察報告

## 建設市民委員会

建設市民委員会では、平成26年11月17日・18日に長野県長野市・飯山市・塩尻市の3市で行政視察を行いました。

長野市では中心市街地活性化について視察しました。空きビルを市が取得し、商業施設と公益施設を整備して再活用をしたり、古民家を再生して飲食・物販からなるテナントミックス施設を整備していました。さらに、百貨店跡地に再開発事業として複合ビルを整備し、賑わい創出の拠点化を図っていました。

飯山市では「いいやま住んでみません課」を新設し、都市部で田舎暮らしセミナーを開催したり、飯山まなび塾などの短期滞在支援、長期滞在支援などで、まちの特徴を生かした移住・定住支援策に取り組んでいました。塩尻市では「中心市街地活性化基本計画」に基づき中心市街



「えんぱーく」の中にある図書館

地を3つにゾーン分けし、それぞれの特徴を生かしたまちづくりに取り組んでいました。特に、市民交流センター「えんぱーく」は図書館、子育て支援、市民活動支援などの機能がある施設となっており、平成25年度の利用実績は6万1千人とのことでした。市民の意見を十分に反映した施設となっており、本市で計画中の駅前拠点施設整備を検討する上で大変参考になりました。

## 教育福祉委員会

教育福祉委員会では、平成26年10月30日・31日に、三重県いなべ市、大阪府門真市、京都府京田辺市の3市で行政視察を行いました。

いなべ市では、介護予防強化推進事業について視察しました。市から委託を受けた「元気クラブいなべ」が、介護予防体操教室を実施し、その研修を受けた高齢者が「元気リーダー」となり、それぞれの地域で自治会と連携し、介護予防教室を展開しているのが特徴です。現在、市内では約60カ所で実施され、健康数値の向上や医療費抑制の効果があつたと伺いました。

門真市では、平成21年度から全小中学校で、子どもの居場所づくりと学力向上を目的に始まった「かどま土曜自学自習室サタスタ」を視察しました。小学校4・5年生と中学校2年生が

対象で、その約1割が参加し、自習室を管理する管理員と学習アドバイザー（大学生、退職教員など）が教えています。子どもたちだけでなく、教える側からも前向きな意見が寄せられているとのことでした。

京田辺市では、世代間交流を目的に、老人福祉施設と児童館の機能を併せ持った複合施設を視察しました。本市の駅前拠点施設においても、「世代間交流」はねらいのひとつであり、大変参考になる視察でした。



説明を聞く教育福祉委員

# 議会レポート



このコーナーでは、議会が本会議以外で行っているさまざまな活動を、写真で報告していきます。



## ▲議場における手話通訳 (12月22日)

議会最終日の「手話言語法に関する請願」や意見書の審議の際に、議場に手話通訳者を設置し、同時通訳を行いました。



## ▲総務企画委員会主催研修会 (11月10日)

総務企画委員会主催で、神奈川県秦野市役所から講師をお招きし、ファシリティマネジメントに関する研修を行いました。市職員や近隣の市町議会にも案内し、総勢50名ほどの研修会となりました。

## ▼建設市民委員会懇談会 (11月6日)

建設市民委員会は、可児保護区保護司会5名の方と懇談会を行いました。保護司の仕事内容や、その現状などの説明を受けた後、意見交換を行いました。



## ▼総務大臣感謝状 (11月27日)

議員として35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったとして、林 則夫議員に総務大臣感謝状が贈呈され、可児市議場にて伝達を行いました。



# 地域のかがやき地域の笑顔

## 広見 公民館まつり



動物の的に向かって、エイ!

## 春里 地区社協給食サービス



高齢者への弁当を配膳中

## 平牧 東明小学校お茶会



5・6年生の児童が来賓の皆さまをおもてなし

### 第1回定例会のお知らせ

- 2月23日 開会日(議案説明)
  - 2月23・24日、3月11～13・18日  
予算決算委員会
  - 3月4～6日 一般質問・質疑
  - 11日 総務企画委員会
  - 12日 建設市民委員会
  - 13日 教育福祉委員会
  - 23日 最終日(委員長報告・討論・採決)
- \*日程は、都合により変更となる場合もあります。

## チョット おじゃまします

※今回は板津博之副委員長と天羽良明委員が、昨年11月19日に帷子公民館で行われた帷子防犯パトロール隊の結成5周年&青パト新車両出発式にお邪魔して隊長の木下武也さん、事務局の高田孝さんにお話を聞いてきました。

**広報委員:** 結成時のご苦労はありましたか。

**木下さん:** 5年前に結成した時はなかなか隊員が集まらなかったもので、13自治会の役員さんには半強制的に隊員になってもらいました(笑)

**広報委員:** 今回は日本財団からの助成金で青パトを購入されたということですが、最初の車両はどのように入手されたのですか。

**高田さん:** 市の助成金を利用してリースで借りうけました。

**広報委員:** パトロールはどのくらいの時間やられますか。また、何人でやっておられますか。

**木下さん:** 3人1組で、月～木は14:15～16:15、金・土は19:30～21:30に地域を巡回しています。

**広報委員:** これで結成から5年を迎えた訳ですが、なにか感想はありますか。

**高田さん:** 最初は人集めに苦労しましたが、徐々に地域のみなさんの理解を得て、今では隊員が70名になりました。隊員になられた方がやりがいをもって活動されているのでありがたいです。

**広報委員:** 今後の課題や展望はありますか。

**木下さん:** 隊員の人数が増えたので、今後は隊員相互の交流を図っていけたらと思います。



**取材を終えて** 帷子防犯パトロール隊は自治連合会を中心に地域住民のみなさんの共助により、成り立っていることを実感しました。また、市が行っている事業「Kマネー」が始まってからは隊員のみなさんのモチベーションが上がったと言われていたのが印象的でした。ボランティア活動でポイントを貯められる「地域支え愛ポイント制度」がボランティア活動への参加につながっているのだと感じました。